

体力と精神力を発揮!

室根地域老人クラブスポーツ大会

市老人クラブ連合会室根支部(小岩邦彦支部長)が主催する室根地域老人クラブスポーツ大会は8月30日、室根きらめきパーク体育館前庭で行われました。夏の猛暑も和らいだすがすがしい天候の下、10チーム約300人がピン釣り競争、ゲートボールリレー、玉入れなど8種目を競い合いました。

どの選手も若々しい体力と精神力を十二分に発揮し、一致協力して元気に競技していました。

成績は次のとおりです。▷優勝=上折壁第一老人クラブ▷準優勝=中津谷川老人クラブ▷第3位=明寿会老人クラブ



正確さが決め手のゲートボールリレー

from
MURONE
室根

生活排水から清流を守る

川崎浄化センターで下水道フェア

今年4月に通水開始となった川崎浄化センターで、9月16日、各家庭の下水道接続を推進するため施設の一般公開と下水道フェアが催されました。

同施設はオキシデーションディッチ(汚水に酸素の供給と攪拌を行い、微生物を元気にさせ、汚れを食べてもらうための装置)により汚水を処理しています。

処理場内の見学のほか、汚水処理に活躍するツリガネムシなどの微生物を顕微鏡で観察するコーナーや、処理場で発生した汚泥を炭化処理した土壌改良資材の紹介も行われ、家族連れなど多くの来場者でにぎわいました。



処理施設のしくみを聞きながら見学する来場者

from
KAWASAKI
川崎

from
HANAIZUMI
花泉



テレビ番組の主題歌に聞き入る入所者の皆さん

懐メロに聴き入って

花中吹奏楽部が特養ホーム慰問

花泉中学校吹奏楽部の部員33人は9月16日、特別養護老人ホーム「ソエル花泉」を訪れ、演奏会を開きました。入所者の皆さんと音楽を通じて交流を深めようと昨年から行っているものです。

テレビ番組の主題歌やポップス、今話題の曲、唱歌など5曲を披露。お年寄りらは、「ふるさと」の演奏と一緒に口ずさんだり、テレビでなじみのあるメロディにうっとりとした様子で聞き入り、アンコールの声も上がりました。部長の岩淵百合英さんは、「昨年から慰問をしていますが、今年も皆さんに喜んでもらえてうれしいです」と笑顔を見せました。



子どもたちに打撃指導を行う銀次選手

華麗なプレーに大歓声

プロ野球イースタンリーグ

プロ野球イースタンリーグ公式戦「楽天イーグルスV S日本ハムファイターズ」は8月25日、東山球場で行われ、県内外から訪れた約1600人の観客がプロ野球選手の華麗なプレーに大きな歓声を上げました。

試合終了後には、楽天イーグルスの選手による野球教室が催され、市内外から参加した12チーム、約230人の小学生がプロ選手から投球や打撃、守備の技術を間近に学びました。野球の基本や楽しさを伝える本県出身の銀次選手らの指導に、未来のプロ野球選手を目指す子どもたちは、真剣な表情で応えていました。

from
HIGASHIYAMA
東山



天の岩戸神話を題材に演じられた「岩戸入り」

from
ICHINOSEKI
一関

「養子縁組」で公園管理

千厩おくたま親水公園

千厩おくたま親水公園の芝桜協働植栽事業は9月8日、同公園で行われました。同公園は、県営経営体育成基盤整備事業で整備された市の施設。この多目的広場のり面に、(株)県土木技術振興協会から提供されたシバザクラの苗2450ポットを地元の住民や企業、関係者ら約100人が植栽し、「来年の春きれいな花が咲くように」と祈りました。

植栽に続き、同公園の維持管理について市と地元の廃棄物処理業ニッコー・ファインメック(株)の間でアドプト(養子縁組)協定が結ばれました。市長代理の菊地地域自治区長と同社の小野寺社長が協定書に調印。今後同公園の草刈りや清掃などの維持管理は同社で行われます。



台風一過の青空の下、公園のり面にシバザクラの苗を植える参加者

from
SENNIWA
千厩

まちのトピックス

地域で開催されたイベントや身近なできごとを紹介します

in
Ichinoseki

ふるさとのお盆を満喫

かがり火神楽

お盆のひとつ、かがり火がたかれる中、地域で守り育てている神楽を楽しむ「かがり火神楽」は8月15日、巖美公民館前庭に設けられた特設会場で催されました。

地元の達古袋神楽、南沢神楽、夫婦神楽の3団体が、鶏舞や「岩戸入り」「五大領」などの日本神話を題材とした演目を、時に勇ましく、時に切なく演じました。帰省した人たちを含む多くの観客は、それぞれの熱演に盛んに拍手を送りながら、ふるさとの一晩を楽しんでいました。



太鼓に合わせ、祖先供養と五穀豊穡を願って舞う行山流鹿踊

躍動感あふれる勇壮な舞

第10回行山流鹿踊交流会

行山流鹿踊交流会は9月2日、大原の春日グラウンドで催されました。交流会は伝統芸能の振興と地域間交流を目的として始まり、今年で10年目を迎えます。行山流山口派鹿踊は大東町大原山口が発祥の地と伝えられ、現在も岩手県南、宮城県沿岸北部に広く伝承されています。

交流会には、全国高校総合文化祭郷土芸能部門で優良賞を受賞した大東高校鹿踊部など8団体が出演し、背中のおさを大きくしなせながら歌や太鼓に合わせて踊り、詰めかけた観客を魅了しました。

from
DAIHO
大東